



# Agora アゴラ



1995年12月 第67号

鶴見大学図書館報



本文より



●人体こぼれ話  
破壊は構築である

解剖は残酷だという人もあるが、これを遺体の葬り方の一つとしてみるなら、肉体を人の手で一つひとつ解きはぐして最後を見届けるという、ひじょうに丁寧かつ人間的な方法といえることもない。

解剖の過程は、見慣れた人間の外形が徹底して破壊されてゆく過程である。しかし、これはたとえ火葬であっても土葬であっても、おなじ破壊であることにはかわりがない。たとえ、解剖と称して乱暴に切り刻んだとしても、結果的には同じことであろう。

しかし、たんなる解剖によって、解剖する者の脳内に、新たな人体の構造が構築されるなら、破壊は構築へと、みごとに転化することになる。しかも、これは単なる死体のコピーでは

以下続く

『新・人体の矛盾』 井尻正二・小寺春人著

歯学部解剖学教室講師 小寺 春人

歯学部でおこなわれる人体解剖実習では、最終回ちかくで眼球周辺の解剖を行う。眼球の後方にはじつに柔らかな脂肪組織が充填されており、これを細いピンセットで取り除くと繊細な神経線維の錯綜している様子があらわになってくる。これらの神経は眼球の筋肉を働かせ、あるいは眼の痛みを伝え、瞳孔の大きさを操ったりしている。いずれの神経も障害を受ければ、眼の機能に重大な影響が生じるものである。このような構造は知らなくともちゃんと役割を果たしているわけだが、これを目の当りにすると巧妙な仕組と精細さに驚くものである。そこで人体とは、なんと合理的で調和のとれた世界かとだれしも感じるだろう。考えてみれば、人体が合理的で調和がとれているのは当然であり、そう

でなければまともに生きてはいられない。

ところが、人体をつくっているそれぞれの器官の歴史をさかのぼると、生命の誕生以来の35億年の古いものから、わずか3万年前の新人になってはじめて獲得した新しいものまで、新旧の様々な要素の寄せ集めであることがわかる。人体の歴史は古いものの上に新しいものを重ねるようにつくられてきており、これらの新旧の器官の間にはかならずしも調和がとれているわけではない。病気や死はこのような調和の破綻である、とみることもできよう。本書では、人体のいくつかの器官を例にその器官がたどった進化の歴史をふりかえって、人体の重層構造とその間の矛盾をみつめようとしたものである。

# 新しい目録端末の使い方

## 目録端末の概要

図書館で本を探したいときには、目録端末で探します。以下の検索語から検索可能です。

### ◆書名中の単語

わかっている単語から検索できます。

### ◆書名（タイトル）

### ◆著者名・団体名

東洋人の場合は、

姓と名の間に「スペース」を入れます。

西洋人の場合は、姓と名で絞り込みます。

目録端末で検索できるのは、以下の範囲です。

通常使う範囲はほとんど検索できます。図書館の蔵書46万冊（和洋比7：3）のうち、目録端末によって検索可能な件数は、14万冊（蔵書の3割）（分類別蔵書統計表による）です。

### ◆1990年以降に「受け入れられた」

和図書・洋図書のすべて

### ◆開架の和図書のうち

総記、語学、文学、文庫、新書、

参考図書

### ◆閉架の和図書の文学のうち約5割

### ◆雑誌のすべて

目録端末で検索できなかった場合は、カード目録でも検索してください。

雑誌論文は、文献の論題からでなく、雑誌のタイトルから探します。論文は「雑誌記事索引」で探します。

## 人名での検索

筒井康隆を例に検索してみます。

きちんとスペースを入れて検索すると、筒井康隆の小説と、筒井康隆に関する研究書も含めてすべて検索できます。

1	つつい やすたか	39件
---	----------	-----

漢字で検索することもできますが、ヒット件数が若干少なくなります。これは、キーワードの付け方の技術的な話になりますのでここでは

説明を省きます。漢字による検索は人名や書名のヨミの確認に効果があります。

1	筒井 康隆	35件
---	-------	-----

姓と名の間にスペースを入れないで検索すると、1件しか検索できません。

1	つついやすたか	1件
---	---------	----

日本人の人名から探す場合は、姓と名の間にスペースを入れることを忘れないで下さい。

次に、西洋人の例として「チャタレイ夫人の恋人」などで有名なイギリスの小説家、批評家、詩人であるD. H. ロレンスを探してみます。D. H. ロレンスで検索すると、検索結果は0件になり、これでは具合の悪いことがわかります。

1	D. H. ロレンス	0件
---	------------	----

原綴りがわからない場合は、まずカタカナで検索してその綴りを調べます。検索の際に、カタカナ、ひらがな、全角、半角はすべて正規化され、同じ検索語として扱われます。

1	ろれんす	107件
---	------	------

2	ロレンス	107件
---	------	------

3	ロレンス	107件
---	------	------

この結果一覧を表示した後、D. H. ロレンスの著作をひとつ詳細表示して（図1）、書誌情報の窓の右側の下向きの矢印をマウスの左ボタンを1回押します。この操作をクリックといいます。すると、画面がスクロールしてキーワードが表示されます。（図2）

D. H. ロレンスの原綴りは、LAWRENCE, DAVID HERBERTであることがわかります。まず、LAWRENCEで検索します。

1	LAWRENCE	236件
---	----------	------

この検索結果には、イギリスの小説家のロレンス・ダレルの「逃げるが勝ち」や、トマス・エドワード・ロレンスの「砂漠の反乱：アラビアのロレンス自伝」もいっしょに検索されています。



そこで、DAVIDを検索語として絞り込みます。これでD. H. ロレンスだけが検索できます。

1	LAWRENCE	2 3 6件
2	DAVID	1 5 2件

この検索では、自動的にLAWRENCEとDAVIDの論理積がとられます。



西洋人の場合は、原綴りの姓と名で絞り込むようにして下さい。日本人のように姓と名を一括して検索しないのは、D. H. ロレンスなどにもみられるように、ミドル・ネームやイニシャルの表記が定まらないケースが存在するからです。

## 多機能検索

通常の検索では、D. H. ロレンスの例のように、最初の検索結果に検索語を追加することで自動的に論理積がとられていきます。多機能検索では、個々の検索語ごとに検索集合を作っ

「筒井康隆の書いた本」と「筒井康隆に関する研究書」から、「筒井康隆の書いた本」を引くと「筒井康隆に関する研究書」のみを検索することができます。

最初に「多機能検索」ボタンをマウスでクリック（図3）するか、「f・6」キーを押すと、「検索条件設定」ウインドウが表示されます。（図4）

最初は、全ての資料。全ての検索語を設定し、次に、著作だけを検索するために、「検索条件設定」ウインドウの検索語種別で「著者名」を設定します。

研究書だけを抜き出すために、1. の検索集合から、2. の検索集合をのぞきます。

これで、筒井康隆の研究書が3件検索されました。

1	[全資料]	[全検索語]	
		つつい やすたか	3 9件
2	[全資料]	[著者名]	
		つつい やすたか	3 6件
3	[演算式]	@1 - 2	3件

## 検索結果

筒井康隆はこう読め／平岡正明著

筒井康隆の逆襲／平岡正明編著；岡庭 昇  
[ほか] 著

評伝筒井康隆／八橋一郎著

The screenshot shows a library search system interface. At the top, there's a title bar '蔵書検索システム' and a menu bar with options like '詳細情報表示', '蔵書表示', '前画面へ戻る', '検索終了', 'この書誌', '他の書誌', '一覧を戻す', '一覧を消す', and '説明'. Below the menu, there's a section '単行書誌詳細表示' with a sub-section '書誌情報'. It displays details for 'チャタレー夫人の恋人 / D・H・ロレンス[著] ; 伊藤整訳. - 東京 : 新潮社, 1964. - 487p ; 15cm. - (新潮文庫)' with book ID '20009284'. Below this, there's a table '所在情報一覧' with columns '請求記号', '所在', '状態', and '資料番号'. The first row shows '文学部 文学書庫' as the location, '貸出中' as the status, and '015.1755' as the call number. To the right of the table, it says '該当件数: 1/1' and 'ISBN 刷の出版年'. There are also buttons for '請求記号', '巻冊次', and 'ISBN'.

ここにマウスの矢印をもってきて、マウスの左ボタンを押すと（クリックすると）、画面がスクロールして、キーワードが表示されます。

貸出中の場合に表示がでます。

この記号の欄に本がおります。

図1：検索結果の詳細表示





## 移動

文学部事務課 樋川 清司

先日、職務、私用含めて3日間連続して遠出をする機会があった。電車に乗っていた時間は総計15時間、移動距離にすると1,000kmを超える。世界を駆けめぐるビジネスマンなどがゴマンというご時世に、何をその程度でといわれそうだが、3日目の帰りの電車のなかでふと、こんなに動き回るということが果して尋常なことなのかという思いにとらわれた。

個人的には電車に揺られて場所を移動している状態は好きだし、ことに長閑な田園風景でも車窓を流れていれば申し分ない。漱石が『草枕』の中で、日本の開化の象徴としての「汽車」について、「人は汽車で行くと云ふ。余は運搬されるという。(中略)余は汽車の猛烈に、見界なく、凡ての人を貨物同様に心得て走る様を見る度に、客車のうちに閉じ籠められたる個人と、個人の個性に寸毫の注意をだに払わざる此鉄車とを比較して、(中略)あぶない。気を付けねばあぶないと思ふ。」と主人公に語らせている。この感覚に比べれば、いかに時代遅れ気味の私でも、現代人としての感覚を持ち合わせているのだろうが、その私が新幹線の味気なさに憤慨し、ましてや飛行機による移動には、足が地についていないという不安感だけでなく、あれ程の短時間にとんでもない距離を克服してしまうことに対する恐れを感じるのである。

数年前に亡くなった祖母は、私より50年ほど前に生まれた人だが、生涯のうちほんの数回東京へ出掛けただけで、あとは自分の生まれた村で、ほとんど自分の足で歩ける範囲で日々の生活を送り、一生を終えた人であった。昨今ではかなりの年配の人達も颯爽と海外へ出掛け、異国の地の名所・旧跡を訪れ、沢山の土産を買って帰ってくる。こうした活動的な人達に比べれば私の祖母などは見聞の広さにおいて子供のようなものである。

しかし、祖母とはうってかわって旅行好きであった祖父が、昭和40年ころヨーロッパ旅行を

し、その土産話をやや得意気にしていた時の祖母の態度は印象的で今でも記憶に残っている。子供であった私は「フランスでは小学生が水がわりにワインを飲んでいた」などという他愛もない話に驚きの声をあげて聞き入っていたのであるが、祖母は不快の表情を浮かべながら適当にあしらっていたのである。今思えば、自分の村のなかで濃密な人間関係のもとに確固たる生活をつづけてきたという自負が、祖父の自慢げな旅行談に浮ついたところを感じとったからであろう。

ところで『ゾウの時間ネズミの時間：サイズの生物学』(本川達雄著 中公新書)という本の中に、いろいろな動物の行動圏について触れた部分がある。それによると、行動圏の広さはほぼ体重に比例し、ヒトと同程度のサイズの動物の行動圏は12平方キロメートル、半径2キロの円に対応するという。2キロといえば徒歩で30分、快適に歩ける距離である。現代人はどうであろう。この本の例をそのまま示すと、立川から丸の内に中央線快速で通勤する人の走行距離は37.5キロ、これを行動圏の半径とするとこの人の行動圏は4418平方キロメートルとなり、ヒトサイズの平均的動物の370倍の広さになるという。逆にこれだけの行動圏をもつ動物の体重を算出すると、2.9トンとなる。

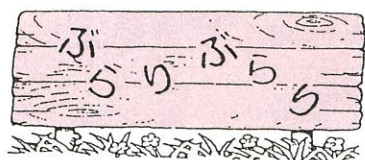
私達は動き回る。人工的に作り出した機械の力をかり、猛烈なスピードで移動する。昨日北海道で獲れたカニを自宅で食し、明日バルセロナでガウディの建築を見ることもできる。さらに近年の情報技術の発達には、自分の部屋にいらながらニューヨークの5番街で買物をしているような仮想の状況を創り出すことだって可能なのである。もちろん便利である。まさに文明発展の象徴ともいえよう。しかし漱石が100年前に汽車に対して示した不快感、その本質的な部分について今一度考え直してみてもよいのではなかろうか。

## 新刊あらかると

最近整理された本の中から読み物的なものを  
紹介します。すべてのリストは、整理速報とし  
て、入口正面の新着図書展示棚の上にあります。

- イラストで読むウィンドウズ入門 K. クリスチャン著 長尾高弘訳 インプレス 1995 (007.3/C)
- 本は男より役に立つ 大津波悦子 柿沼英子著 社会思想社 1995 (019.1/O)
- 人生最後の時間 木原武一著 PHP 研究所 1995 (114.2/K)
- 死者の書 (イメージの博物誌) S. グロフ著 川村邦光訳 平凡社 1995 (147.08/I)
- 狂気と王権 井上章一著 紀伊国屋書店 1995 (204/I)
- 中世都市鎌倉 遺跡が語る武士の都 河野真知郎著 講談社 1995 (210.42/K)
- ピラミッド 時間を超越したピラミッドの偉大さを探訪する (ビジュアル博物館) 同朋舎出版 (242/P)
- 歴史を彩る恋人たち ロナルド・タンプリン編著 川成洋監訳 同朋舎出版 1995 (280.4/F)
- 資格の経済学 (中公新書) 今野浩一郎 下田健人著 中央公論社 1995 (336.43/I)
- 何のための大学評価か 東海高等教育研究所著 大月書店 1995 (377.11/N)
- バリ職業づくし 中世から近代までの庶民生活誌 F. クラインニール著 論創社 1995 (382.35/K)
- アリはなぜ一列に歩くか 山岡亮平著 大修館書店 1995 (486.7/Y)
- 「転院してください」 そのとき家族は? 米山公啓著 日本経済新聞社 1994 (490.4/Y)
- 歯科医療・茜色の風景 斉藤貞雄著 日本歯科新聞社 1995 (D04/S)
- 歯科免疫に強くなる本 内山長司 九州歯科大学口腔細菌学講座共著 クインテッセンス 1995 (D15/M)
- 「歯無し」にならない日本人 山賀禮一著 情報センター出版局 1995 (D4/Y)
- 歯周病が気になる人へ 鴨井久一著 東洋出版 1995 (D512/K)
- 原子爆弾の誕生 リチャード・ローズ著 神沼二真 渋谷泰一訳 紀伊国屋書店 1995 (559.7/R)
- 新美しい洋食器の世界 眺める楽しみ、選ぶよろこび、使うしあわせ 講談社 1994 (573.2/S)
- ファッションデザイナー 発想からビジネスまで 柳澤元子著 平凡社 1995 (589.21/Y)
- 森の動物・昆虫学のすすめ 森林インストラクター入門 西口親雄著 八坂書房 (654.8/N)
- 横濱線物語 明治41年から、電化に33年、複線化に80年 サトウマコト著 1995 (686.2137/S)
- テレビと権力 清水英夫著 三省堂 1995 (699/S)
- 呪術としてのデザイン 芸術民俗学の旅 中嶋斉著 彩流社 1994 (701.3/N)
- 夫・手塚治虫とともに 木洩れ日に生きる 手塚悦子著 講談社 1995 (726.1/T)
- 画家の妻たち 澤地久枝著 文藝春秋 1993 (720.4/S)
- フラワーメッセージ 色の夢 原色現代押し花 近藤レミ子著 誠文堂新光社 1995 (726.9/K)
- 文楽入門 観賞へのいざない (淡交ムック) 淡交社 1995 (777.1/B)
- 平成お言葉講座 いまどき用語辞典 平成OL用語研究会著 学生社 1995 (810.4/H)
- 続・消えた日本語辞典 奥山益朗著 東京堂出版 1995 (814/O)
- 本を読む日曜日 俵万智著 河出書房新社 1995 (911.16/T-45)
- 与謝野晶子 (年表作家読本) 平子恭子編著 河出書房新社 1995 (911.16/Y-31/H)
- 智恵子抄アルバム (芸術…夢紀行シリーズ1 高村光太郎) 芳賀書店 1995 (911.5/T-9/C)
- 『源氏物語』の身体測定 大塚ひかり著 三交社 1994 (913.361/O)
- 東京の小さな喫茶店 常磐新平著 世界文化社 1994 (914.6/T)
- アーサー王伝説万華鏡 高宮利行著 中央公論社 1995 (931.8/T)
- シェイクスピア劇場 (三省堂ライブラリー) J. モーリー文 三省堂 1995 (932.7/M)





だんだんとお布団から離れ難い季節になってきました。でも、天気の良い休日には、思い切って早起きをして外出してみたいかでしょうか。

そんな1日の為に、紅葉を楽しみながら散歩が出来て温泉にも入れる、湯河原温泉郷をご紹介します。

J R東海道線湯河原駅より奥湯河原行きのバスで約15分、不動滝で下車します。バス停からほんの少し歩くとすぐに岩の斜面に繊細に流れ落ちる滝の姿が見えてきます。周りを竹林に囲まれたこの静かな趣深い滝を私は小さな橋のまん中から見上げるのが好きです。

ここからバスで来た道を折り返して行くのですが、紅葉と風情ある旅館、そして川のせせらぎを聞きながら10分程度歩くと、不動滝より小さいながらも雄々しい流れを見せるだるま滝を道沿いに見る事が出来ます。更に10分程度歩くと右側に万葉公園があります。万葉集に登場する花木が数多く植えられ、それぞれにちなんだ歌の札が添えられているので、散策しながら万葉集の世界に浸れます。たっぷり歩いた後、出口に待っているのは町営入浴場こごめの湯。日頃の疲れを洗い流し、大広間でゆっくりくつろぐ事が出来ます。(本当は散歩よりこれが、楽しみです…) なお、入浴料は1000円、月曜日が休館です。

湯河原駅には落合橋よりバスで約10分です。帰りに真鶴でちょっと寄り道をして新鮮なお刺身でも食べれば、もう満足、の一言でしょう。

歯学部事務部 N. N.



## 図 書 館 だ よ り

### ◎冬休みの貸出について

冊数 4冊

期間 12月9日(土)～27(水)までに借りた  
図書の返却日は1月10日(水)まで

※1月8日(月)からは平常貸出になります。

### ◎映写会日程

12月8日(金)『友達のうちはどこ?』

2:40～4:05

12月19日(火)『愛が微笑む時』

12:40～2:25

1月10日(水)『ライオン・キング』

2:40～4:10

### ◎視聴覚サービスのお知らせ

#### ◆冬休みの閉室日

12月23日(土)～1月6日(土)

※1月13日(火)から3月30日(土)は閉室します。

#### ◆新しいLDプレーヤーが入りました!

11月1日よりLD-G対応のプレーヤーが利用できるようになりました。LD-G(レーザー・ディスク・グラフィックス)とは何かというと、字幕などのグラフィックス画像をTV画面に映し出す機能です。もっともポピュラーなのがシナリオディスクと呼ばれるもの。日本語字幕のついている洋画に英語字幕を呼び出したり、消したりでき、英会話などの学習にはもってこいです。

ものは試しで是非利用してみてください。

## 参考係から(5)：文学作品

文学関係の探しものには、古典作品の活字本や写本の影印本、語釈・注釈書、現代語訳、海外小説の翻訳本などがある。簡単に書架で見つかるものや、目録末端で探せるものがほとんどであるが、なかには参考ツールでその作品の入っている本の書名を調査してから、その本の所蔵を目録末端で調べるという、面倒な手順をとらなければいけないケースもある。

石坂洋次郎の長編小説「若い人」を、書架(913.6/I-57)にいて探すと、短編集があるだけでみあたらない。目録末端で探すと、中央公論社の「日本の文学58巻」(918.6/N)、新潮社の「日本文学全集46巻」(918.6/N)に入っていることがわかる。文学作品は文庫本で出版されたり、全集などに収録されているケースが多い。

短編小説の「外交員」は、書架で探すと「石坂洋次郎短編全集1巻」(913.6/I-57/I)に入っているが、短編はほとんどの場合、目録端

末では検索できない。

文学作品や短編が、その作家や作品、および、全集の書架で見つからないときは、「全集・作品名総覧」(910.26/N)、「個人全集・内容総覧」(910.26/N)などを使って、その作品がどの全集に入っているかを調べる。海外文学、児童文学、詩歌にも同様のツールがある。

またCD-ROM検索のJ-BISCでは、1969年から現代までに国内で出版された本が、すべて一括して検索の対象となる。

古典文学作品の背景に関係してくる朝廷の儀式や行事の解説書である「江家次第」(ゴケンダイ)を「国書総目録」(025.1/K)で調べると「神道体系 朝儀祭祀編四」(170.8/S)に入っていることがわかる。「全集・叢書細目総覧」(027.4/K)でも全集や叢書の内容を調べることができる。

中国の唐代の小説である「杜子春伝」(トシユンテン)は「中国学芸大事典」(920.3/K)から、「中国古典文学大系24巻 六朝・唐・宋小説選」(928/C/24)に邦訳が入っていることがわかる。

## 図書館カレンダー

12

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

1

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

### 開館時間

平日 9:00~19:00 (但し、水曜日は9:30開館)

土曜日 9:00~16:00

●=閉館日

□=開館時間短縮日

平日 9:00~16:30

土曜日 9:00~12:30

アブラ ー鶴見大学図書館報ー 第67号 1995年12月1日発行 編集・発行 鶴見大学図書館 納富 常天  
〒230 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 ☎ 045-581-1001・FAX 045-584-8197

印刷/朝日オフセット印刷株式会社